令和６年度　長野県感染症対策連携協議会議事録

１　日　時　令和６年 10 月 28 日（月）午後６時～

２　場　所　長野県庁西庁舎１階 109 会議室
（Web 会議併用）

３　出席者　【構成員】
飯塚康彦構成員（オンライン）、石井絹子構成員（オンライン）、石塚豊構成員、岡田邦彦構成員（オンライン）、小松仁構成員（オンライン（代理者出席））、長瀬有紀構成員、西澤尚構成員（オンライン）、花岡正幸構成員（オンライン）、松村幸紀（オンライン（代理者出席））、宮澤俊昭（オンライン）、山﨑善隆構成員（オンライン）
【オブザーバー】
須藤伊那保健福祉事務所長兼伊那保健所長
【長野県】
塚原感染症対策課長、渡辺感染症対策課長補佐、木下感染症対策課主任ほか

４　議事録

【開会挨拶】
（塚原感染症対策課長）
長野県健康福祉部感染症対策課長の塚原でございます。
本日はお忙しい中、本協議会にご出席いただきまして心より感謝申し上げます。
また皆様には日頃より本県の保健医療の充実発展のためご尽力を賜り、重ねて御礼を申し上げます。
本協議会は、令和５年４月の感染症法の改正により設置が義務づけられ、本県における感染症の発生およびまん延防止対策につきまして、検討・協議をすることとされました。昨年度につきましては、第３期信州保健医療総合計画の感染症分野に係る協議・検討を行っていただき、本年３月に当該計画を正式決定したところでございます。
その後県では、新興感染症の発生・まん延時における病床確保や、発熱外来等の医療体制の整備のための平時からの取組といたしまして、長野県と医療機関等との間で、感染症法に基づく医療措置協定を締結したところでございます。
本日の協議会では、医療措置協定の締結状況について共有させていただくとともに、当該協定の締結が今後の感染症対策の中で、実効性あるものとなるための取組等

につきまして、それぞれご専門の立場から、忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。
　本日はどうぞよろしくお願いいたします。

（渡辺課長補佐）
　本日ご出席の構成員の皆様は、お送りした出席者名簿のとおりでございますが、ご異動などで新しく変わられた構成員様もいらっしゃいますので、改めて代理でご出席いただいている方も含めまして、名簿順に自己紹介をお願いいたします。なお、長野市の宮島保健所長は、ご欠席です。それでは一言ずつお願いいたします。

【各構成員あいさつ】

（渡辺課長補佐）
　皆様ありがとうございました。
　それでは次に、本日の会議資料のご確認をお願いいたします。資料は事前にメールでお送りしたところでございますが、「会議次第」、「出席者名簿」、そして「資料１ 医療措置協定等の締結状況について」と「資料２ 新興感染症発生・まん延時における協定の締結を踏まえた今後の取組について」、また、参考資料としまして、「医療措置協定による医療提供体制の見える化シート」というものあわせて４つお送りしております。資料の方はよろしいでしょうか。画面の投影もさせていただきますのでよろしくします。
　それでは早速、会議事項に入りします。昨年度に引き続きまして花岡構成員に座長をお願いいたしまして、会議の進行をお願いしたいと存じます。それでは花岡座長よろしくお願いいたします。

（花岡座長）
　皆様改めましてこんばんは。信州大学の花岡です。ご指名ですので、座長を務めさせていただきます。
　本日は医療措置協定に関するご審議をお願いしております。新型コロナは一段落しましたが、今後新興・再興感染症がどのような形で勃発するか予測はできません。平時からの備えが大切ということで、このような取組を行っていただいております。本日は忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いでございます。
　それでは議題の３の会議事項に入りたいと思います。最初に医療措置協定等の締結状況について感染症対策課から説明をお願いいたします。

【（１）医療措置協定等の締結状況について】
（木下感染症対策課主任　資料１により説明）

（花岡座長）
ご説明ありがとうございます。ただいまのご説明に関して構成員の皆様から何かご質問はございますでしょうか。

（飯塚構成員）
県の方では、例えば発熱外来679機関が流行初期以降に対応するという把握をしているということですが、これを地区で見た場合、例えば人口10万人あたりいくつの医療機関が手を挙げているということはお分かりになっておりますでしょうか。もし分かれば教えていただきたいと思います。
それから、地区によって足りているところと足りてないところがあるのではないかと感じていますが、その点はどうでございましょうか。よろしくお願いします。

（木下主任）
数値につきましては、10の医療圏別と県内の４ブロック別という形でまとめておりまして、保健所には共有させていただいておりますが、ご指摘のとおり足りていない地域等もございます。また、かなり目標に近い地域もありまして、保健所と共有をしながら、今後の対応についても考えて参りたいと思っておりまして、まさに不足している地域につきましては、積極的に医療機関様にお話しをさせていただき、ぜひともご協力を賜ってまいりたいと考えております。

（花岡座長）
今後の呼びかけ等は継続して行っていくということですね。ですから、この数値目標を達成される可能性は十分あるということでよろしいでしょうか。

（木下主任）
達成する見込みもある程度立っておりますので、尽力してまいりたいと考えております。

（花岡座長）
他の構成員の皆様はよろしいでしょうか。
それでは次の議題に移りたいと思います。続きまして協定の締結を踏まえた今後の取組について感染症対策課からご説明をお願いいたします。

【（２）協定の締結を踏まえた今後の取組について】
（木下感染症対策課主任　資料２により説明）

（花岡座長）
ご説明ありがとうございます。見える化シート等を作成して関係機関と情報共有を図っていくというご説明でございました。非常に見やすいシートではないかと思いますが、構成員の皆様、何かご意見ご質問ございましたらよろしくお願いいたします。

（山﨑構成員）
見える化シート大変わかりやすく作られているかと思います。６ページを見ますと、参考として全県での受入の状況を記載されていますが、今後はこういったシートを圏域ごとに病院名等を入れて作っていかれるのかどうかを確認させていただきたいと思います。理由を申しますと、圏域ごとになってきますとやはり医療機関の大小などの諸事情から、受け入れ開始の時期がまちまちになってしまう可能性もあるのかなというように思います。そういったものをどこが中心になって調整をしていくのかどうか、その点も含めてご意見を伺えればと思います。

（木下主任）
まず見える化シートの作成のイメージでございますが、県内 10 の医療圏がございますので、医療圏ごとにシートを作っていきたいと考えております。作成につきましては、保健所中心に作っていきたいと思っておりまして、保健所を中心に各医療機関様と調整をいただきながら、結果的には 10 部でき上がるイメージになるかと思います。
また、ご指摘いただきましたとおり県内 10 の医療圏ごとに医療機関、医療資源の大小もございますし、今までのやり方等も若干異なっているところもございますので、各医療圏がやりやすいような形で作っていけたらと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（石塚構成員）
見える化シートは 10 圏域で作るということですが、集めるメンバーとしては協定を締結しているところとなり、それ以外のところは、関係する機関が集まって考えるということでよろしいでしょうか。

（木下主任）
基本的には協定の締結にご協力いただいた医療機関等の皆様に共有させていただきたいと思っていますが、こういったような情報共有の場で医師会様や薬剤師会様に共有させていただき、協定の締結にご協力いただけるということであれば、ぜひともご

協力を賜りたいと思っております。

（石塚構成員）
２月末に集まって情報共有いただくということですけれども、それが完成形ではないと思いますが、協定を締結する人たちから再度ご意見いただいて、それを踏まえて３月以降に完成することになるのでしょうか。それとも２月末が一応決定事項ということで完成形となるのでしょうか。

（木下主任）
できれば２月末には医療機関等の皆様に共有して成案とさせていただきたいと考えております。ただ、成案とした後も当然変更等はあると思いますので、どういったタイミングで成案としていくのか、現時点では決まっていませんが、やはりどこかのタイミングで見直しが必要と思いますので、検討してまいりたいと考えております。

（長瀬構成員）
見える化シートに医療機関名を記載する欄がございますが、ここについては、協定という形で手上げはされていても、地域の関係者間で共有されることに抵抗のある医療機関様もいらっしゃると思います。全て一律にというよりは、共有してもよいという合意形成、同意を得るプロセスが必要ではないかと思いますので、そのあたりは２月末までに同意いただけるところは載せるというような進め方でもよいかどうかということをお伺いしたいと思います。

（木下主任）
ご指摘の通りまさに医療機関様に合意いただいけるかというのは非常に重要になるかと思いますので、各圏域のスケジュール感に応じて進めていただきたいと考えております。そのため、２月に成案にしていただきたいと考えていますが、間に合わない場合には合意形成できたところだけでも構いませんので、進めていただきたいと考えております。

（花岡座長）
他にご意見ご質問ございますか。ご発言されてない方もいらっしゃいますので、お１人ずつ一言お願いできればと思います。
今回の協定締結を踏まえて、今後の取組あるいは方向性、留意点、お気づきの点があろうかと思います。あるいは要望でも構いませんので、ぜひ各構成員からお願いしたいと思います。名簿順に行きたいと思います。長野県医師会の飯塚先生お願いします。

（飯塚構成員）
　措置協定を進めるにあたって、まだ手挙げをしてないところがいくつかあると思いますが、そういうところに関しては、例えば「こういうふうに医療機関の動線を変えれば、この協定に参加できますよ」というようなアドバイスをしていただくと大変ありがたいと思っていますので、考えていただければと思います。よろしくお願いいたします。

（石井構成員）
　訪問看護事業所は大小それぞれで、小さいところが多いので、そういうところにも情報がきちんといって協力ができるようにしていただければと思うので、情報の漏れが無いようよろしくお願いしたいと思います。

（石塚構成員）
　決まったことを各事業者にうまく伝わるように進めていただきたいということと、各事業者がそれを踏まえたBCPなどを策定できるような形で考えていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

（岡田構成員）
　見える化シートは非常によくできていると思います。各圏域の中でいうところでは、個々の病院の意見もそうですが、コロナのときには、保健所を中心に皆で情報を共有し合うシステムを作っていただいて、定期的にこんなことがあるというような情報を共有し、比較的協力体制がよくできたと思います。今後も、まとめる形で保健所さんの力を借りながら、各医療機関が協力していく形を新興感染症が出てきた時には作っていただけると、より各医療機関さんが参加しやすいかなと思っております。

（小松構成員（代理者出席））
　見える化シートですけども、非常にわかりやすくできていると思います。私は作る方の立場ですけれども、各医療機関さんの方に情報共有がうまくできるような形で進めていけたらと思っております。

（長瀬構成員）
　保健所をハブにしてという形でお話いただきましたが、圏域の関係者の皆様への情報共有が非常に重要だと思います。
　見える化シートの中には、連絡会議や情報共有に関する記載はございませんが、このシートがさらに実効性を伴うものになるように、そうした会議体についても検討

し、できればシートの中に落とし込んでいきたいと思います。
　また松本、長野に関しましては中核市との連携が非常に重要になってまいりますので、そういったところについても保健所で検討してまいりたいと思います。関係機関の皆様にはご協力いただくこと多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

（西澤構成員）
　過日、県の方から移送に関して、県内の消防本部ごとの調整について、どのように協議していけばよいかというようなことも相談いただいております。それぞれ各圏域によって異なる部分もあるかもしれませんが、できるだけ綿密に話をしながら進めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

（松村構成員（代理者出席））
　発熱外来の説明ところで、不足している医療圏域もあるというようなお話がございました。実際自分のところの医療圏がどういう状況なのかはわかりませんけれども、保健所さんの方で情報をお持ちということと、見える化シートも医療圏域ごとに作成されるということでしたので、またできましたらぜひ市町村の方にも情報提供していただきたいと思いました。

（宮澤構成員）
　情報共有の範囲ですが、市町村については各圏域の実情による実施となっておりますが、できましたら、全市町村に情報の共有をお願いしたいと思います。

（山﨑構成員）
　今回このような医療措置協定を締結していただいているわけですけれども、コロナ禍の時にも現場では多く経験したのですが、実際のところ思ったように患者を収容していただけないような状況がしばしば起きてきたように思います。やはり実効性が極めて大事というように思っておりまして、今後それをどのようにコロナ禍以降継続して地域の病院等で、感染対策が継続できるかということが今後の課題なのかなというように思っています。
　最近病院の診療報酬の中で地域感染対策向上加算というものもできてまいりまして、各地域の主たる病院が、その周囲の病院と連携したり、あるいはその病院から地域のクリニックと連携したりして、感染症に対する情報共有をするようなシステムが徐々に構築されてきています。従ってそういった制度も活用していただきたいなというように思います。
　また、訓練等もウェブ等も使って、可能な範囲で、地域で新興感染症に対する訓練

みたいなものを地域の基幹病院とクリニックとの間等でできるような体制作りも、やはり今後10年、20年先を考えて取り組んでいかなければいけないのかなというふうに考えております。

（花岡座長）
最後、私から一点ですけれども、コロナで非常に強く思ったことはトリアージが極めて重要で、この見える化シートを使ってどのように病院やクリニックをトリアージするのか、議論を詰めておかなければならないような気がします。
特定の病院やクリニックに患者が集中してしまえばパンクしてしまいます。うまく圏域の中であるいは全県的にまんべんなく患者を診療できるような体制を構築するためにも、トリアージのシステムと考え方、ルールが重要ではないかと思っておりますので引き続き検討よろしくお願いいたします。
他ご発言よろしいでしょうか。

（木下主任）
本日ご欠席されております長野市保健所の宮島所長から事前にご意見をいただいておりますので共有をさせていただきたいと思います。
「医療措置協定については、各医療圏の保健所が、病院との話し合いやお願いをする中で、信頼関係を築きながら協定締結に至った経緯があります。今後県では感染症の流行フェーズごとで、医療措置協定に基づいて病院に病床確保や発熱外来の受け入れ等を要請することになりますが、実際の運用に当たっては、医療圏の保健所の関与や裁量がないと回らない部分も出てくるものと思われます。そこで、保健所と病院との信頼関係に十分配慮し、要請に際しては、保健所への情報共有は勿論のこと、医療圏ごとの実情把握の意味も含め、保健所に十分確認しながら要請を進めていただきたい。」というご意見を頂戴いたしました。
こちらにつきましてももっともなご意見でございますので、保健所と連携をしながら、実情に応じて実際の対応を進めてまいりたいと考えております。

（花岡座長）
ありがとうございます。構成員の皆様から様々なご意見を頂戴できたと思います。今回の医療措置協定の締結を踏まえ、今後どのように取り組んでいくのか引き続き事務局において検討を進めていただきたいと思います。
本日の議題、議事ですが、こちらで準備したものはこれで終了となりますが、その他に構成員の皆様からご発言はございますでしょうか。
そういたしましたら、以上をもちまして本日の議事を終了したいと思います。円滑な進行にご協力いただきましてありがとうございました。

（渡辺課長補佐）
　花岡座長、議事を進行していただきましてありがとうございました。
　先ほど座長からもお話がありましたとおり、本日いただいたご意見等を踏まえまして、今後の取組については、課内で検討を進めてまいります。
昨年度は、予防計画・医療計画の検討を中心とさせていただきましたこの連携協議会でしたが、今年度からは策定した計画をより具現化していくため、様々な視点から引き続きご意見を頂戴したいと思います。
　今年度の開催は本日の会議で終了でございますが、ご意見等をお聞きする事案がございましたらメール等によって伺わせていただくこともあると思いますので、その際はよろしくお願いします。
　本日はありがとうございました。以上をもちまして、長野県感染症対策連携協議会を開催いたします。お疲れ様でございました。ありがとうございました。